

令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	191	無電柱化推進事業(要請者負担方式)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-2-(4)-イ			
担当部課名	土木建築部 道路管理課	事業実施(予定)年度	H24~R3	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化			
事業内容	電線類を地中化することにより、緊急輸送道路や避難路確保の防災対策、都市景観の向上を図る。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R13年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(補償)							
予算額・執行額【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R3年度(事故繰越)	R4年度(繰越)	R5年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	429,120					
		(b)予算現額	429,120					
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d)前年度繰越額		402,159	199,810			
	A. 計(b+d)		429,120	402,159	199,810	0	0	
	B. 執行済額		26,961	191,369	189,309			
	うち交付金充当額		21,569	153,095	151,447			
	C. 次年度繰越額		402,159	199,810	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		6.3%	47.6%	94.7%			
予算の状況の説明		・令和3年度繰越予算は地上機器の納品が間に合わないことから、補償契約完了ができずに次年度に繰り越すこととなった。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	対象路線において、電線管理者への補償(ケーブル設計、引込設計など)を6路線で実施		目標	補償の完了(6路線)	補償の完了(6路線)	-	-	
		実績	5路線	3路線	-	-		
進捗状況説明		・電線管理者と引込設備の設計・工事が可能な路線について調整を行い、引込先の沿道住民と協議が整った3路線への補償を実施している。						
成果目標(指標)及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(〇〇年度)	
	電柱撤去後、観光地としてふさわしい景観であると感じるかをアンケート調査により検証。(80%以上)		目標	-	80%	-	-	-
			実績	-	94%	-	-	-
	達成状況説明		・無作為の観光客に観光地としてふさわしい道路景観であると感じるか(80%以上)をアンケートで検証し、満足していると回答した者が94%となり、目標を達成した。 ・無電柱化推進事業は、電線の入線及び既設電柱の抜柱まで行ってから成果が発現することから、引き続きハード交付金で実施した電線共同溝への入線設計・工事を電線管理者と調整し早期の完了を図る。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・沿道住民との調整が必要となる引込管の整備について、その協議に相当の時間を要しており、ソフト交付金による電線管理者への入線設計・工事に関する補償時期に影響を与えている。	・電線管理者と沿道住民との協議等を円滑に進めるため、引き続き引込管の整備計画について電線管理者と検討を行う。
今後の取り組み方針		
・電線管理者の引込管整備計画等について、複数の電線管理者及び道路管理者間で情報共有を行い、円滑な事業執行に努める。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金				交付対象外経費
		充当額	負担金	うち市町村負担金	その他	
407,639	407,639	326,111	81,528	0	0	0

沖縄県
 交付対象
 事業費
 407,639千
 円

補助先	補助金名及び補助概要	補助額 (千円) ※事業費ベース		入札者数	落札率
		うち交付金充当額	うち県負担金		
1 NTTインフラネット(株)	補助金名 無電柱化推進事業	11,352	9,082		
	補助概要 無電柱化推進事業(要請者負担方式)に関する補償契約(国道390号 宮古)				
2 沖縄電力(株)	補助金名 無電柱化推進事業	15,609	12,487		
	補助概要 無電柱化推進事業(要請者負担方式)に関する補償契約(国道390号 宮古)				
3 西日本電信電話(株)	補助金名 無電柱化推進事業	12,251	9,801		
	補助概要 無電柱化推進事業(要請者負担方式)に関する補償契約(その1)(県道16号線 中部)				
4 沖縄電力(株)	補助金名 無電柱化推進事業	36,691	29,353		
	補助概要 無電柱化推進事業(要請者負担方式)に関する補償契約(県道16号線 中部)				
5 沖縄電力(株)	補助金名 無電柱化推進事業	6,159	4,927		
	補助概要 無電柱化推進事業(要請者負担方式)に関する補償契約(県道16号線 中部)				
6 沖縄電力(株)	補助金名 無電柱化推進事業	136,268	109,014		
	補助概要 無電柱化推進事業(要請者負担方式)に関する補償契約(那覇糸満線 南部)				
7 沖縄電力(株)	補助金名 無電柱化推進事業	189,309	151,447		
	補助概要 無電柱化推進事業(要請者負担方式)に関する補償契約(国道393号 宮古)				

資金の 使途の 流れ・ 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補償契約の相手先は、沖縄電力・NTT(電線管理者)となっており、支出先として妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	86	特殊病害虫特別防除事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(7)-ウ			
担当部課名	農林水産部 営農支援課	事業実施(予定)年度	H24~R3 年度	農林水産物の安全・安心の確立 III-1-(6)			
事業内容	特殊病害虫の侵入防止、根絶防除等のため、侵入警戒調査、侵入防止防除及び根絶防除等を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,582,129				
		(b)予算現額	1,582,129				
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額	0	74,250			
		A.計(b+d)	1,582,129	74,250	0	0	0
	B.執行済額		1,237,797	74,250			
		うち交付金充当額	990,237	59,400			
	C.次年度繰越額		74,250	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		78.2%	100.0%			
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度予算について、世界的な半導体不足の影響によりインバーターの納入が遅れており、工事に遅れが生じたため、令和5年度へ事故繰越した。 最終的な執行率は82.9%であり、主に令和3~4年度にかけてミカンコミバエの誘殺が多数確認され、臨時防除を実施する可能性が生じたことから、経費節減に努めた。その後、誘殺が収まったため、委託料や需用費及び旅費等の執行算が不用となったものである。 						
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ウリミバエ防除回数	目標	159	159	-	-	
		実績	160	161	-	-	
	ミカンコミバエ防除回数	目標	54	54	-	-	
		実績	55	55	-	-	
	ゾウムシ類防除回数	目標	326	326	-	-	
実績		379	348	-	-		
ナスミバエ防除回数	目標	2	2	-	-		
	実績	4	4	-	-		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ウリミバエの再侵入に備えるための不妊虫航空・地上放飼、果実調査等を計画に沿って実施した。 ミカンコミバエの防除については、計画に沿った誘殺版による防除やトラップ調査及び果実調査を実施し、臨時防除を実施した。 ゾウムシ類防除は不妊虫大量増殖及び航空・地上放飼・寄主植物除去等を計画に沿って実施した。 ナスミバエ防除について、寄主植物調査等を計画に沿って実施した。 						
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(H23年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(R3年度)
	ウリミバエ緊急防除件数	目標	-	0件	-	-	-
		実績	-	0件	-	-	-
	ミカンコミバエ緊急防除件数	目標	-	0件	-	-	-
		実績	-	0件	-	-	-
	ナスミバエ緊急防除件数	目標	-	0件	-	-	-
		実績	-	0件	-	-	-
	イモゾウムシ類根絶達成地区における緊急防除件数	目標	-	0件	-	-	-
実績		-	0件	-	-	-	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ウリミバエについては、不妊虫放飼及び果実調査により再侵入を防ぐことができ、侵入警戒調査においても確認されなかったため目標を達成した。 ミカンコミバエについては、誘殺版設置及び果実調査を実施し、誘殺が確認されたものの目標を達成した。 イモゾウムシ類については、アリモドキゾウムシが根絶された久米島においては再定着を防止できている。また、津堅島において、アリモドキゾウムシを根絶した。 ナスミバエについては、発生地域の拡大が続いており、注意喚起等を行っているが、緊急防除は実施されていない。 						

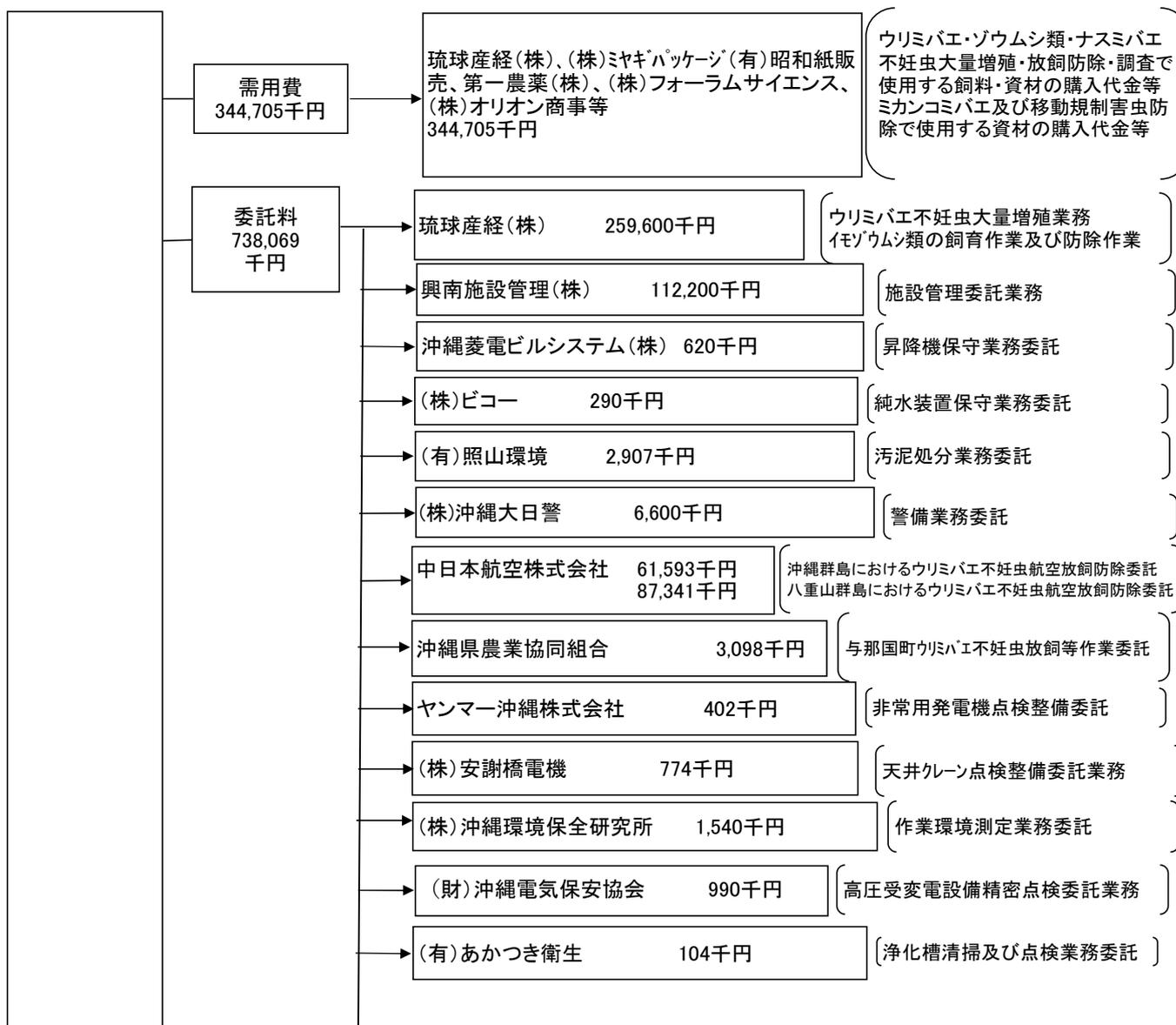
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ウリミバエ不妊虫の放飼を中断することなく継続することが必要。修繕及び改築等により、機能維持に努める必要がある。しかし、ミカンコミバエの誘殺が多数確認された影響等により、計画の見直しを要している。 ・本県はミバエ類が発生している諸外国に近く、侵入リスクは非常に高い状況にある。ミカンコミバエ誘殺は毎年確認されており、市町村等との連携体制の維持が重要である。誘殺頭数が近年急増しており侵入リスクの高まりに警戒を要する。 ・津堅島のアリモドキゾウムシの根絶が達成されたことから、防除や調査を継続するとともに、防除員を配置し警戒にあたっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウリミバエ大量増殖等施設及び各放飼拠点施設の修繕・改築について、計画の翌々年に整備することを基本とするなど、状況の変化に対応できる計画期間を確保する。 ・侵入リスクの高まりが現象面で表現されていると感じており、発生地点確認や初動防除等の対応等、体制維持のためにも関係機関との連携強化に努める必要がある。 ・津堅島のアリモドキゾウムシの侵入警戒に向けて、引き続き関係機関との調査及び防除体制の連携を図りつつ、住民らに対する説明を徹底する必要がある。

今後の取り組み方針

- ・ウリミバエ大量増殖等施設及び各放飼拠点施設の修繕について、予算確保と施工状況の把握により計画的な整備を行っていく。
- ・トラップ回収状況やテックス板設置状況の確認や改善を行い、侵入発見精度の維持を図る。
- ・津堅島におけるアリモドキゾウムシの根絶に向けて、関係機関との連携により再侵入防止とともに調査を実施する。

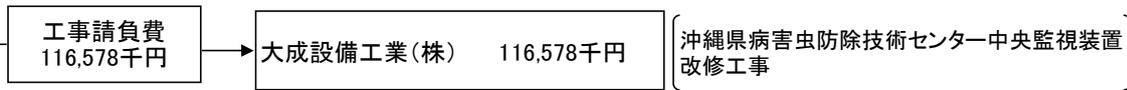
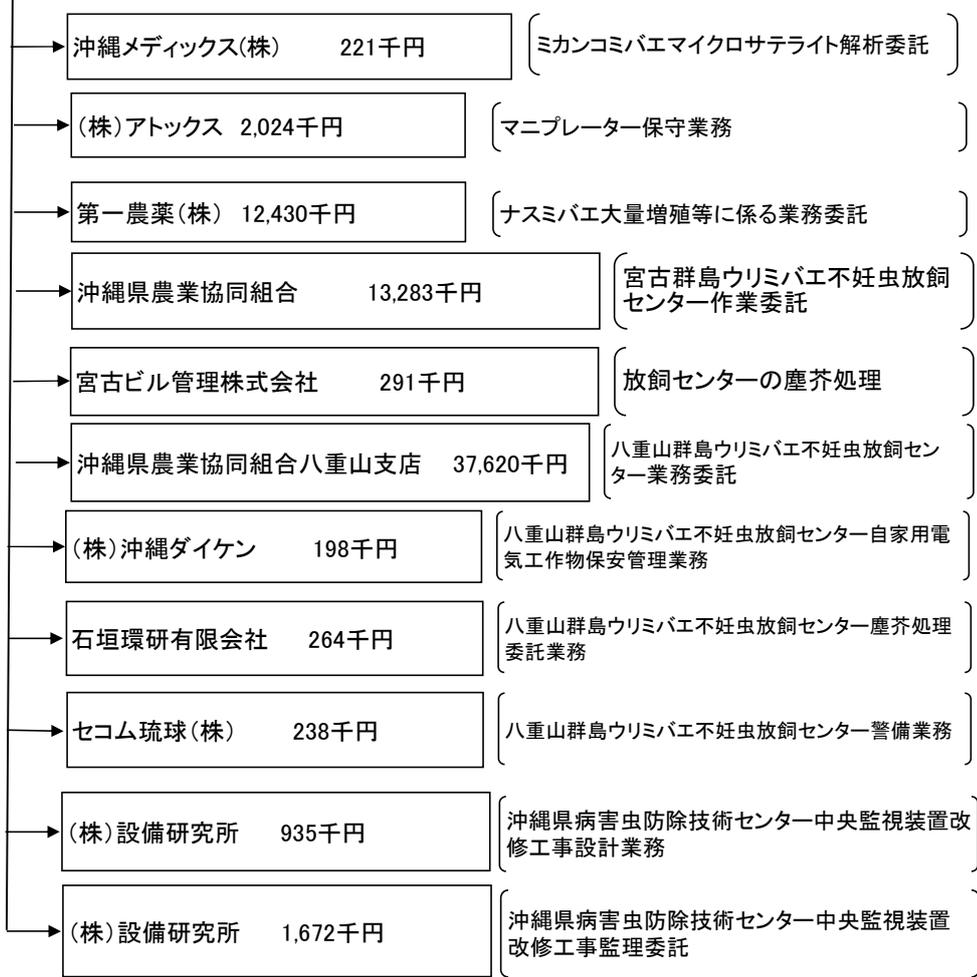
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
1,312,047	1,312,047	1,049,638	262,409	0	0	0



沖縄県
 交付対象
 事業費
 1,312,047千円

→	(株)オーシーシー	106千円	{	ファイルサーバ機器運用保守	}
→	川重ファシリテック(株)	4,290千円	{	照射装置保守業務	}
→	(株)沖縄科学AVセンター	572千円	{	監視カメラ保守点検業務	}
→	竹富町	5,398千円	{	竹富町におけるミバエ調査作業	}
→	(株)沖縄環境保全	29千円	{	脱水汚泥分析調査業務	}
→	竹富町	325千円	{	八重山群島におけるミカンコミバエ侵入防止航空	}
→	沖縄県農業協同組合	70千円	{	八重山群島におけるミカンコミバエ侵入防止	}
→	中日本航空株式会社	55,092千円	{	八重山群島におけるミカンコミバエ侵入防止航空防除	}
→	国頭村	415千円	}	ミバエ地上防除作業委託	}
	大宜味村	304千円			
	東村	229千円			
	今帰仁村	611千円			
	本部町	1,143千円			
	名護市	1,441千円			
	恩納村	417千円			
	宜野座村	297千円			
	金武町	438千円			
	伊江村	461千円			
	伊平屋村	71千円			
	伊是名村	80千円			
	うるま市	2,668千円			
	沖縄市	1,786千円			
	読谷村	654千円			
	嘉手納町	236千円			
	北谷町	414千円			
	北中城村	353千円			
→	中城村	285千円			
	宜野湾市	1,514千円			
	西原町	423千円			
	浦添市	1,532千円			
	那覇市	3,978千円			
	豊見城市	1,182千円			
	糸満市	858千円			
	八重瀬町	582千円			
	南城市	1,102千円			
	与那原町	221千円			
	南風原町	374千円			
	久米島町	401千円			
	渡嘉敷村	70千円			
	座間味村	71千円			
	渡名喜村	33千円			
	粟国村	61千円			
	宮古島市	2,931千円			
	多良間村	110千円			
	石垣市	1,756千円			
	竹富町	817千円			
	与那国町	101千円			
	計	30,420千円		ミカンコミバエ防除用誘殺版の設置	
→	沖縄メディックス(株)	1,240千円	{	ミカンコミバエ種群遺伝子配列解析	}
→	中日本航空株式会社	457千円	{	久米島におけるミカンコミバエ侵入防止緊急航空防除	}
→	うるま市	6,560千円	{	津堅島におけるイモゾウムシ等の根絶事業に伴う業務委	}
→	沖縄メディックス(株)	256千円	{	アリモドキゾウムシ遺伝子配列解析	}
→	久米島イモゾウムシ等防除対策協議会	26,019千円	{	久米島におけるゾウムシ等根絶及び侵入防止事業に伴う業務委託	}



報酬
31,758千円

共済費
5,179千円

旅費
11,174千円

役務費
16,260千円

使用料及び賃借料
6,902千円

備品購入費
34,930千円

職員手当
6,418千円

事務費 74千円 (報償費、負担金、補助及び交付金、公課費)

資金の 使途の 流れ ・ 点検 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者に対しては、実績や入札により適正に決定した。 ○費目・使途については、事業達成の観点から、必要なものなのかどうか額の確定時において支出等に関する書類検査の上、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	